

会社名 平和紙業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 清家 義雄
 (コード 9929 東証スタンダード市場)
 問合せ先 常務取締役管理統括本部長 高木 修
 (Tel 03-3206-8501)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

2021年5月13日に公表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2021年5月13日発表)	百万円 16,500	百万円 94	百万円 142	百万円 93	円 銭 9.64
今回修正予想(B)	15,619	161	133	87	9.04
増減額(B-A)	△881	67	△9	△6	—
増減率(%)	△5.3	71.3	△6.3	△6.5	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	14,611	8	△19	△34	△3.60

(2) 修正の理由

前回発表予想においては、新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金の特例措置期間の延長を考慮せず、連結業績予想数値を公表しておりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて特例措置期間が延長されたことにより、出勤日数の削減を目的とした交代出勤による休業を実施し、休業中の従業員に対して支給する手当を営業外費用に計上したため、販管費が大幅に減少し、営業利益は前回予想を上回る見通しとなりました。

なお、当第4四半期連結会計期間(2022年1月1日～2022年3月31日)における営業外収益の「助成金収入」は15百万円、営業外費用の「休業手当」は36百万円を計上する予定です。また、当連結会計年度(2021年4月1日～2022年3月31日)における営業外収益の「助成金収入」は1億9百万円、営業外費用の「休業手当」は2億6百万円を計上する予定です。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、社会経済活動は緩やかに正常化に向かい、需要は回復傾向にありますが、当初の需要予測までは至らず、売上高及び営業利益以外の利益項目は前回予想を下回る見通しとなりました。

※上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、本予想数値と異なる場合があります。

以 上